



ホームページ

Twitter

水地申第21号 団体交渉(3月11日開催)

安全に万全を期した「中編成ワンマン運転」施策の実施を求める緊急申し入れ

お客さまの死傷事故が危惧される問題を解決しなければ

水戸線に「中編成ワンマン運転」施策は認められない!!

1. 「中編成ワンマン運転」施策の実施にあたっては、当面の間、安全に万全を期すため、ワンマン運転列車に車掌を乗務させること。また、十分な検証期間を設け、労使議論を行ったうえで本実施すること。

○会社回答○

中編成ワンマン運転については、これまで安全を確保する上で必要な設備整備、及び必要な訓練を行ってきたことから予定通り実施する。

安全を大前提に施策を進めていくことの認識一致を図るが

～組合主張～

- ◆ 検証交渉や申16号基本交渉以降で、安全に対する問題提起をしてきたが、この間講じてきた対策はあるか。
- ◆ 同化現象・死角が解消できたのか。明確に答えていただきたい。
- ◆ これまで、車掌が行ってきたドアセーフティ90のホーム進入時の車両側面における触車、発車時の前方、発車後のモニタ消灯時の車両側面の触車や後方の死角について、どう認識しているのか。
- ◆ それで問題ないという認識なのか。問題ないとする根拠は。

しかし

～会社主張～

- 同化現象はあるが、モニタの精度は変えられない。貴側との議論もあり、モニタが見づらい場合の取り扱いをマニュアルに盛り込み乗務員に周知している。
- 同化現象をなくすことはできないのではないか。カメラ切り替えなどで確認してもらいたい。
- 運転士の対応できる範囲でやってもらえば良い。
- 問題ない。必要な設備整備をしてきたから。

会社「モニタ同化現象は確かにある！」

**「死角あるけど問題ない！」「側面後方見えないけど問題ない！」
これで、本当にお客さまの「いのち」は守れるのでしょうか！？**

システムに置き換えられても欠陥があるのであれば対策を講じることは当然である。我々は中止・延期を求めているわけではない！車掌を乗務させ検証を行ったうえで、万全な対策を講じるべきだ！



“安全第一・健康第一”で “安心・ゆとり・働き甲斐、のある
風通しの良い健全な職場を全組合員で創造しよう！”

